

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 昭和パックス株式会社

コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 弘征

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土田 隆夫

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-3269-5111

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,897	△0.6	478	△9.6	544	△5.6	347	1.4
23年3月期第2四半期	9,952	18.9	528	361.4	576	357.3	342	349.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 180百万円 (35.6%) 23年3月期第2四半期 133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.15	—
23年3月期第2四半期	38.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,541	9,040	44.8
23年3月期	19,269	8,925	44.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,754百万円 23年3月期 8,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.8	940	△7.4	1,010	△8.9	640	3.0	72.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,900,000 株	23年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	14,543 株	23年3月期	13,250 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,885,924 株	23年3月期2Q	8,888,499 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災による供給制約と需要の急激な落ち込みから4～6月期の実質国内総生産（GDP）は3四半期連続のマイナス成長となりました。しかし、供給制約解消に伴う国内生産の回復を背景に7～9月期の実質国内総生産は前期比プラス成長に転じる見通しです。

今後の国内景気は東日本大震災からの本格的な復興需要を支えに回復基調が続くものの、欧米経済の減速や円高の影響による輸出の伸び悩みから回復のペースは鈍化する見込みです。

産業用包装資材の製造・販売を主要事業とする当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、震災後の国内取引先の生産動向の影響を受けて、当社の重包装袋の売上数量が前年同期を下回りました。その一方でフィルム製品の売上数量が伸び、子会社各社は比較的順調に推移致しました。その結果、連結売上高は9,897百万円で前年同期に比して54百万円の減少となりました。損益につきましては、売上の減少のほか、原材料費比率の上昇等があり、営業利益478百万円（前年同期比50百万円の減益）、経常利益544百万円（同32百万円の減益）でしたが、前年同期より特別損失が減少したため四半期純利益は347百万円（同4百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、一部需要家の被災の影響が大きく前年同期比△4.1%と減少しました。

特に被災の影響と輸出の減少で合成樹脂用途向けのクラフト紙袋需要の落ち込みが大きく、これが当社のシェアが高い分野であったことから、当社の売上数量は前年同期比△7.8%と業界全体よりも大きな減少幅となりました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量はほぼ前年並み、タイ昭和パックス㈱、山陰製袋工業㈱の当第2四半期連結累計期間（1～6月）の売上数量は前年同期比でそれぞれ+3.9%、+8.1%と順調でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,276百万円で、前年同期に対し365百万円の減収となりました。

なお、タイ昭和パックス㈱の第1期増設工事が7月に完了し、クラフト紙袋の製造能力が月産3百万袋から4百万袋にアップしました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用は微増、農業用は減少で、合計では微減となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は当第2四半期連結累計期間中は上昇傾向でしたが、直近のナフサ価格の変動を受け軟化に転じつつあります。

当社の売上数量は、需要に機動的に対応した生産・出荷を行ったことで産業用、農業用いずれも伸び、合計で前年同期比+17.5%となりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は2,074百万円で、前年同期に対し219百万円の増収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは復興需要もあり海外からの輸入量が前年同期より大幅に増加しました。

当社の自社製ワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は食品用途向けが伸びたものの樹脂・化学品用途向けが減少してほぼ前年同期並み、輸入販売品は樹脂・飼料・食品用途向けが大きく伸びて、全体では前年同期比+17.2%となりました。一方で、大型コンテナバッグ「バルコン」の売上数量は前年比△13.2%と減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は875百万円で、前年同期に対し99百万円の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産と賃貸契約の内容に大きな変動はありませんでした。前期中に本社ビルの賃貸料を改訂したため、当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して7百万円減少し、124百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は19,541百万円で、前連結会計年度末から271百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金236百万円、有形固定資産288百万円、主な減少要因は投資有価証券236百万円です。

(負債)

負債合計は10,500百万円で、前連結会計年度末に比べて156百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金75百万円、主な減少要因は支払手形及び買掛金113百万円です。

(純資産)

純資産合計は9,040百万円で、前連結会計年度末に比べて115百万円増加しました。主に、四半期純利益347百万円と剰余金配当支払62百万円の結果である利益剰余金の増加285百万円と、その他有価証券評価差額金の減少149百万円によります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加して3,416百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は510百万円（前年同期比213百万円の収入減）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益で538百万円、減価償却費で254百万円、たな卸資産の減少で122百万円、仕入債務の減少で△111百万円、法人税等の支払で△234百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は381百万円（同13百万円の支出減）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出262百万円、定期預金の払戻・預入差額による支出99百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は16百万円（同113百万円の収入減）です。主な内訳は、短期借入金の増加による収入97百万円、長期借入金返済による支出11百万円、配当金の支払による支出62百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3～4四半期については、国内の震災復興計画執行の遅れ、欧州債務リスクを起点とした海外景気減速の深刻化、タイ水害の影響によるアジアサプライチェーンの混乱など、外部環境に景気への懸念要因が多数存在します。景気動向は物流用包装材の需要を大きく左右し、当社グループの業績に影響を及ぼします。当社の主力製品であるクラフト紙袋は震災の影響を払拭しきれておらず売上数量の前年割れが続いているところに、原料である原紙価格の値上がり加わり、経営環境はより厳しさを増すことを覚悟しなければなりません。

既存の商権の深耕、適正価格の維持とともに、当社独自技術STSや山陰製袋工業㈱との連携を活用した新たな商権の獲得、液体用コンテナ内袋など新しい商材の拡販にも注力し、困難な環境を打開して連結業績を向上すべく努力してまいります。

通期の業績見通しについては、当初の予想（平成23年5月12日発表）を変更せず、連結売上高20,000百万円、経常利益1,010百万円、当期純利益640百万円を見込みます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,663,081	3,899,446
受取手形及び売掛金	5,780,167	5,839,626
商品及び製品	1,308,553	1,258,215
仕掛品	116,423	117,099
原材料及び貯蔵品	961,051	877,780
繰延税金資産	202,620	203,064
その他	248,425	262,789
貸倒引当金	△22,744	△8,407
流動資産合計	12,257,578	12,449,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,195,999	6,306,990
減価償却累計額	△4,237,368	△4,231,843
建物及び構築物（純額）	1,958,631	2,075,147
機械装置及び運搬具	7,562,376	7,675,233
減価償却累計額	△6,440,963	△6,548,720
機械装置及び運搬具（純額）	1,121,412	1,126,512
土地	847,789	846,072
リース資産	7,362	39,592
減価償却累計額	△2,510	△5,086
リース資産（純額）	4,851	34,506
建設仮勘定	148,182	282,608
その他	598,447	612,841
減価償却累計額	△523,343	△533,713
その他（純額）	75,103	79,128
有形固定資産合計	4,155,970	4,443,975
無形固定資産		
リース資産	3,694	3,111
ソフトウェア	40,743	40,188
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	53,668	52,530
投資その他の資産		
投資有価証券	2,485,160	2,248,452
繰延税金資産	4,791	4,550
その他	379,117	408,839
貸倒引当金	△66,511	△66,451
投資その他の資産合計	2,802,557	2,595,391
固定資産合計	7,012,196	7,091,897
資産合計	19,269,775	19,541,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,292,264	4,178,768
短期借入金	2,907,600	2,983,360
未払法人税等	267,211	214,292
賞与引当金	332,571	318,325
役員賞与引当金	24,260	24,392
環境対策引当金	3,980	—
リース債務	2,663	7,497
繰延税金負債	1,707	1,726
設備関係支払手形	4,450	13,764
その他	623,112	949,509
流動負債合計	8,459,822	8,691,635
固定負債		
長期借入金	786,000	778,000
退職給付引当金	103,064	125,899
役員退職慰労引当金	83,926	97,164
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	3,836	6,627
負ののれん	227,985	199,487
リース債務	6,487	31,745
繰延税金負債	461,846	360,318
長期預り保証金	197,014	195,836
固定負債合計	1,884,166	1,809,084
負債合計	10,343,988	10,500,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,408,691	7,694,337
自己株式	△6,193	△6,782
株主資本合計	8,332,844	8,617,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,773	224,754
為替換算調整勘定	△63,953	△88,636
その他の包括利益累計額合計	309,819	136,118
少数株主持分	283,122	286,772
純資産合計	8,925,786	9,040,792
負債純資産合計	19,269,775	19,541,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,952,176	9,897,234
売上原価	8,207,153	8,204,081
売上総利益	1,745,023	1,693,152
販売費及び一般管理費	1,216,377	1,215,136
営業利益	528,646	478,016
営業外収益		
受取利息	1,205	1,363
受取配当金	35,895	36,228
負ののれん償却額	28,498	28,498
為替差益	—	881
その他	16,497	14,993
貸倒引当金戻入額	—	15,717
営業外収益合計	82,096	97,683
営業外費用		
支払利息	28,215	28,877
為替差損	956	—
その他	4,738	2,505
営業外費用合計	33,910	31,382
経常利益	576,832	544,317
特別利益		
固定資産売却益	—	1,677
投資有価証券売却益	84	—
特別利益合計	84	1,677
特別損失		
固定資産除却損	1,453	7,192
環境対策引当金繰入額	17,985	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,385	—
投資有価証券売却損	—	116
特別損失合計	29,823	7,309
税金等調整前四半期純利益	547,093	538,684
法人税、住民税及び事業税	192,055	181,804
法人税等調整額	1,991	△274
法人税等合計	194,047	181,529
少数株主損益調整前四半期純利益	353,046	357,155
少数株主利益	10,093	9,301
四半期純利益	342,953	347,853

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	353,046	357,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208,804	△149,008
為替換算調整勘定	△11,029	△27,425
その他の包括利益合計	△219,834	△176,433
四半期包括利益	133,212	180,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,222	174,152
少数株主に係る四半期包括利益	8,990	6,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,093	538,684
減価償却費	252,267	254,903
負ののれん償却額	△28,498	△28,498
長期前払費用償却額	483	1,054
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,385	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,677
投資有価証券売却損益(△は益)	△84	116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,313	△14,255
賞与引当金の増減額(△は減少)	54,287	△14,246
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,320	132
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,226	22,834
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△104,244	13,237
受取利息及び受取配当金	△37,100	△37,592
支払利息	28,215	28,877
固定資産除却損	1,453	7,192
売上債権の増減額(△は増加)	△173,767	△67,100
たな卸資産の増減額(△は増加)	299,434	122,853
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,996	△111,137
その他の流動資産の増減額(△は増加)	68,597	△16,534
その他の流動負債の増減額(△は減少)	37,127	70,351
その他	10,687	△32,556
小計	893,561	736,640
利息及び配当金の受取額	37,100	37,592
利息の支払額	△29,554	△29,251
法人税等の支払額	△201,437	△234,194
法人税等の還付額	24,273	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,944	510,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△248,962	△238,204
定期預金の払戻による収入	151,001	138,656
有形固定資産の取得による支出	△245,031	△262,389
無形固定資産の取得による支出	△4,650	△6,818
有形固定資産の売却による収入	—	1,677
投資有価証券の取得による支出	△47,500	△14,206
投資有価証券の売却による収入	390	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,752	△381,155

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	178,000	97,000
リース債務の返済による支出	△1,331	△3,748
長期借入金の返済による支出	△11,000	△11,000
自己株式の取得による支出	△382	△588
配当金の支払額	△44,443	△62,207
少数株主への配当金の支払額	△2,057	△2,920
少数株主からの払込みによる収入	10,908	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,692	16,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,436	△9,350
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	456,448	136,816
現金及び現金同等物の期首残高	2,608,547	3,279,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,064,995	3,416,024

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,642,039	1,855,074	775,579	131,620	9,404,315	547,860	9,952,176
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,642,039	1,855,074	775,579	131,620	9,404,315	547,860	9,952,176
セグメント利益又は損失(△)	592,179	9,129	27,262	76,296	704,868	△176,222	528,646

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	704,868
「その他」の区分の利益	41,311
全社費用(注)	△217,534
四半期連結損益計算書の営業利益	528,646

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,276,342	2,074,722	875,380	124,155	9,350,600	546,633	9,897,234
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,276,342	2,074,722	875,380	124,155	9,350,600	546,633	9,897,234
セグメント利益又は損失(△)	501,803	75,156	7,842	68,562	653,366	△175,349	478,016

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	653,366
「その他」の区分の利益	39,554
全社費用(注)	△214,904
四半期連結損益計算書の営業利益	478,016

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。